

環境活動レポート

＜エコアクション21＞

《第42期》

【2010.10.01～2011.09.30】

2011年11月01日
中島精工株式会社

1. 会社概要

名 称	中島精工株式会社
代表者名	代表取締役社長 稲玉 和平
設 立	昭和44年10月
資本金	1,000万円
売上高	34,300万円(第42期(2010.10~2011.09)実績)
所在地	〒387-0001 長野県千曲市大字雨宮926-1 TEL:026-272-2148 FAX:026-272-2564
従業員数	20名
事業内容	TN液晶表示(LCD)用リードフレームを中心とした、精密電子部品の技術開発から量産まで一貫して手がけています。特に高い信頼性が要求される車載用LCDのリードフレーム分野では、国内トップクラスのシェアを誇ります。 また、当社独自の製造装置は優れた生産技術との融合により、無人運転を実現しています。
営業品目	LCD用リードフレーム、HIC用リードフレーム
環境管理責任者	代表取締役専務 中島 高広

事業規模

	第38期	第39期	第40期	第41期	第42期
売上額	49,100万円	45,800万円	30,050万円	35,360万円	34,300万円
従業員数	23人	24人	21人	21人	20人
延べ床面積	1,038㎡	1,783㎡	1,783㎡	1,783㎡	1,783㎡

2. 対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日

対象範囲	全社(全組織)
レポートの対象期間	2010.10.01~2011.09.30
発行日	2011年11月1日

3. 環境方針

《基本理念》

中島精工株式会社の全社員は、環境問題が人類共通の最重要課題であるとの認識のもと、地球環境と地域社会との共生を目指し、環境保全に配慮した事業活動を行います。

《基本方針》

- (1) 当社は、各種リードフレームの生産・販売をしております。すべての活動において環境保全に努め「地球に優しい企業」を目指します。
- (2) 全社員が環境に与える影響を的確に把握し、環境保全と汚染予防の活動を継続的に実施します。
- (3) 環境関連の法律、規制、条例及び当社が受け入れを決めた基準を遵守します。
- (4) エネルギー・廃棄物等を削減し、分別を徹底することによる再資源化を推進します。また、グリーン購入及び製品・サービスの環境配慮に努めます。
- (5) この環境方針を全社員に周知すると共に、一般に公開します。

改定 2009 年 10 月 1 日

改定 2010 年 10 月 1 日

2004 年 6 月 1 日策定

代表取締役社長 稲玉 和平

4. 中長期及び第43期目標(対42期比)

管理項目	第42期実績	第43期目標	第44期目標
電力使用量(kw)	222,653	200,388	198,161
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	84,207.34	75,786.60	74,944.53
削減率(%)	—	-10.0	-11.0
灯油使用量(L)	1,186	1,400	1,388
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	2,954.04	3,485.77	3,456.23
削減率(%)	—	18.0	17.0
二酸化炭素排出量合計(kg-CO ₂)	85,393.34	79,272.37	78400.76
削減率(%)	—	—	-7.2
廃棄物(可燃ごみ)排出量(kg)	787.7	772	764
削減率(%)	—	-2.0	-3.0
水道使用量(m ³)	183	181.2	180
削減率(%)	—	-1.0	-1.5
グリーン購入	①グリーン購入についての勉強会を行う ②グリーン購入件数を集計する		
製品・サービスに関する環境項目	製品・サービスの環境配慮の勉強会		

5. 環境活動計画

(1) 電力消費量の削減

1. 昼休みの照明は、必要最小限にする
2. エアコン使用時間・温度管理の徹底
3. 定期的なエアコンのフィルター清掃(冷暖房効率アップ)
4. 電気ストーブの使用頻度削減

(2) 灯油使用量の削減

5. 石油ストーブの温度管理の徹底

(3) 廃棄物排出量の削減

6. 社内文書の電子化(印刷物削減)
7. ゴミの分別の徹底(リサイクル促進)
8. 個人で持ち込んだゴミの持ち帰りの徹底
9. 副資材のリサイクル化の促進

- (4)水道使用量の削減
 - 10. 手洗い中の止水の徹底
- (5)グリーン購入
 - 11. グリーン購入についての勉強会を行う
- (6)製品・サービスに関する環境項目
 - 12. 製品・サービスの環境配慮の勉強会を行う
- (7)その他
 - 13. ウォームビズ、クールビズの促進

6. 第42期環境目標の実績(対41期比)

管理項目	第41期実績	第42期目標	第42期実績
電気使用量(kw)	256,353	253,789	222,653
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	96,901.43	95,932.41	84,207.34
削減率(%) (対41期比)	—	-1.0	-13.1
灯油使用量(ℓ)	1,195	1,185	1,186
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	2,977.86	2,948.08	2,954.04
削減率(%) (対41期比)	—	-1.0	-0.8
二酸化炭素排出量合計(kg-CO ₂)	99,879.29	98,880.49	87,161.38
削減率(%) (対41期比)	—	-0.4	-12.7
廃棄物(可燃ごみ)排出量(kg)	829.5	821.2	787.2
削減率(%) (対41期比)	—	-1.0	-5.0
水道使用量(m ³)	194	19.2	183
削減率(%) (対41期比)	—	-1.0	-5.7
グリーン購入	消耗品等の購入担当者にグリーン購入の説明		
製品・サービスの環境配慮	設計、出荷、リサイクル等環境配慮について全社員の勉強会を実施		

7. 環境活動の取組結果の評価、次年度の取組内容

(1) 電力使用量

第42期は、エアコンの使用時間、温度管理を徹底し電力使用量の削減に取り組んだ。各自ウォームビズ、クールビズの工夫をし、電力量の削減に協力をしてもらい、目標を大きくクリアすることができた。

(2) 灯油使用量

電力使用量削減の為、一部冬期間の暖房を灯油にした。このため、目標は未達成となってしまう。

(3) 廃棄物(可燃ごみ)排出量

地域の資源回収にも協力し、今後も削減に向けて努力して行きたい。個人で持ち込んだゴミは持ち帰る等の取組の結果、目標値クリアである。

(4) 水道使用量

手洗い時の止め水等、社員の節水意識も高まっている。

第43期は更なる削減に向けて努力して行きたい。

(5) グリーン購入、製品・サービスの環境配慮

初めての取組みで、様子がわからず戸惑ってしまった。

(6) 次年度の取組み

前期(第42期)の実績を基に、今期(第43期)と中期(次期＝第44期)の目標値を見直す事とする。当社は冬季の最大電力量が最も高い為、今期、先ずは冬季の最大電力量の削減(目標＝120kw)に取り組む。暖房費削減の為、ウォームビズを推奨し、夏季同様にエアコン使用を控える事で電気使用量と電気料金の削減を図りたい。グリーン購入、製品・サービスの環境配慮についてもより具体的に行う。

8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社が遵守する環境関連法規の遵守状況について、環境管理責任者の中島高広が中心となりチェックを行い、現在及び過去3年間問題のないことを確認した。また、関係機関からの指摘や周辺住民からの苦情等はなく、訴訟等もなかった。

9. 代表者による全体の評価と見直しの結果

(1) 全体の評価

42 期は経費節減策の一つとして暖房費節減を掲げた事により電気から灯油への切り替えを図った。加えて、今年は3月に発生した東北大震災の影響により全国的に節電ムードが高まり、当社においても社員個々の意識変化と共に色々な取り組みが功を奏したものと判断する。また、電気使用料金は“使用量”と“最大電力量(過去 1 年内の最大値を基本料金に設定)”の二本立てで構成されている事を知り、5月末からはデマンド装置を導入し、最大電力量の削減(目標=120kw 以下)に取り組んだ結果、夏の冷房使用時季を最大 121kw で乗り切る事ができた。(因みに昨夏は 141kw) 電力使用量は受注減少の影響も含め、下記の通り、大幅に目標を達成する事ができた。トータル的に二酸化炭素排出量を 12.2%も削減できた事は良い結果と判定する。

[第 42 期環境目標とその実績]

管理項目	第41期実績	第42期目標	第42期実績
電気使用量(kw)	256,353	253,789	222,653
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	96,901.43	95,932.41	84,207.34
削減率(%) (対41期比)	—	-1.0	-13.1
灯油使用量(ℓ)	1,195	1,185	1,186
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	2,977.86	2,948.08	2,954.04
削減率(%) (対41期比)	—	-1.0	-0.8
二酸化炭素排出量合計(kg-CO ₂)	99,879.29	98,880.49	87,161.38
削減率(%) (対41期比)	—	-0.4	-12.7
廃棄物(可燃ごみ)排出量(kg)	829.5	821.2	787.2
削減率(%) (対41期比)	—	-1.0	-5.0
水道使用量(m ³)	194	19.2	183
削減率(%) (対41期比)	—	-1.0	-5.7
グリーン購入	消耗品等の購入担当者にグリーン購入の説明		
製品・サービスの環境配慮	設計、出荷、リサイクル等環境配慮について 全社員の勉強会を実施		

(2)見直し

環境目標の見直し 前期(第42期)の実績を基に、今期(第43期)と中期(次期=第44期)の目標値を下記の表の通り、見直す事とする。当社は冬季の最大電力量が最も高い為、今期、先ずは冬季の最大電力量の削減(目標=120kw)に取り組む。暖房費削減の為、ウォームビズを推奨し、夏季同様にエアコン使用を控える事で電気使用量と電気料金の削減を図りたい。

中期環境目標

管理項目		第41期 実績	第42期 実績	第43期 目標	第44期 目標
電気使用量(kw)		256,353	222,653	200,388	198,161
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)		96,901.43	84,207.34	75,786.60	74,944.53
削減率(%)	対41期	—	-13.1	-21.8	-22.7
	対42期	—	—	-10.0	-11.0
灯油使用量(ℓ)		1,195	1,186	1,400	1,388
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)		2,977.86	2,954.04	3,485.77	3,456.23
削減率(%)	対41期	—	-0.8	17.1	16.2
	対42期	—	—	18.0	17.0
二酸化炭素排出量合計(kg-CO ₂)		99,879.29	85,393.34	79,272.37	78,400.76
削減率(%)	対41期	—	-12.7	-20.6	-21.5
	対42期	—	—	-7.2	-8.2
廃棄物排出量(kg)		829.5	787.7	772.0	764.0
削減率(%)	対41期	—	-5.0	-6.9	-7.9
	対42期	—	—	-2.0	-3.0
水道使用量(m ³)		194.0	183	181.2	180
削減率(%)	対41期	—	-5.7	-6.6	-7.2
	対42期	—	—	-1.0	-1.5
グリーン購入		引き続き勉強会を行い、具体的に実施する			
製品・サービスの環境配慮		引き続き勉強会を行い、具体的に実施する			

(3)総括

昨年の総括では『新たに効果的な改善策を見出さなければ環境目標の達成は難しい』と記載し、大幅な削減は望めないと思っていたが、東北大震災を契機に国民の節電意識に変化が現れた。当社の社員も同様であり、家庭においても、会社の経費節減活動においても節約志向が働いたように思われる。現代において、電気は無くてはならないものであるが、例え僅かでも電気に頼らないという気概を持ちたいものである。今後においても節約に努め、環境問題を重視し、CO2削減に向け、全社員で取り組んでいきたい。

2011年11月1日

中島精工株式会社

代表取締役社長 稲玉 和平

